

治安維持法犠牲者国家賠償要求 秋田県本部 第35回定期総会



▲決議を提案する最上会長

7月21日11時～15時30分、第35回定期総会が、県福祉会館で開かれました。8支部から38名(女性13名)の代議員が出席しました。

※なお県大会で決定した「決議」「討論のまとめ」「発言者と発言主旨」は、「不屈」9月「号外」で発行しますので、ご覧ください。

最初に、開会宣言した伊藤達男事務局長がよびかけ、治安維持法弾圧の犠牲者と昨年の県本部大会からの1年間に逝去された会員13名のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

議長団には、常任理事の浅石重美さん(大館鹿角支部長)と同・佐藤ミツ子さん(秋田支部)が就任しました。

◆ ◆ ◆

共産党県委員会の藤本ゆり委員長(衆院2区予定候補)、県革新懇の鈴木政隆共同代表からが、それぞれ連帯と激励の来賓あいさつをいただきました。

中央本部から吉田万三会長がメッセージをよせられ、佐藤清一常任理事が朗読し紹介しました。

最上会長が、「総会決議」を提案しました。

最上会長は、①来年は治安維持法が公布されてから100年の年であり、半世紀にわたる国賠同盟の闘いの歴史的意義に確信をもち、新たな歴史の第一歩を踏み出そう、②学習と顕彰と会員以外の方を誘える楽しく、ためになる企画をたて実践することが、組織と運動の「継承と発展」につながる、③同時に、署名と会員拡大は自然成長に任せず、役員を先頭に意識的に取り組むことが肝心だ、と強調しました。④会員みなさんは健康に気をつけよう。と訴えました。

▼次ページに続く



【秋田県版】

No. 398

2024年8月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

発行人：田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4

秋田県本部

〒014-1413
秋田県大仙市角間川町
字東中上町27

最上健造 方

TEL&FAX
0187-65-2115

同盟運動の目的

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
 - 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

◇ ◇ ◇
財政報告を藤田精士事務局
長が行い、決算と会計監査、
予算が承認されました。藤田
事務局長は「会費」こそ同盟
財政の大黒柱だと強調し、納
入に尽力するよう訴えました。

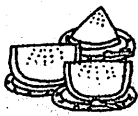
◇ ◇ ◇
「特別決議」として岸田総
理大臣あてに「申し入れ」を
採択しました。
提案に立った佐藤長右衛門
副会長は、案文が「総理大臣
岸田文雄様」となっているが、
本当は「様」などつけたくな
いと、ユーモアを込めて怒り
をぶっつけました。

◇ ◇ ◇
新役員は、18名の常任理事
(うち新人は4名)、9名の
理事(新1名)、2名の会計
監査を選出しました。

◇ ◇ ◇
常任理事を退任された方は
次の通りです。
富岡洋子さん(秋田支部。

健康上の関係です。県同盟発
足以来の会員さんで、長い間
の常任理事でした)
北村孝治さん(横手支部。
病気のため退任となりました
が、支部事務局長は当面継続
します)
宮原晃さん(湯沢) 石井進
さん(秋田) 党の任務や健康
の問題で、理事に回りました
※常任理事であった佐藤宏
明さん(大曲仙北支部)は、
3月に逝去されました。
本当にお疲れ様でした。今後
の健康を願いつ、可能なご協
力をお願い致します。

◇ ◇ ◇
12名(女性4名)が「発言」
しました。
最上会長が「まとめ」を行
いました。



第35回県本部定期総会で選出された役員

会 長 沼倉貞夫(湯沢雄勝 断)

最上健造 (本部) 会計監査

副 会 長 佐藤昭 (秋田)

遠藤嘉恵 (秋田) 理事

佐藤長右衛門 (横手) 事

高田博 (秋田) 仲澤正弘 (大館鹿角)

事務局長 藤田精士 (本部) 藤田久則 (鷹巣阿仁)

事務局次長 伊藤達男 (秋田) 石井進 (秋田)

相川修二 (横手) 村上次郎 (本荘由利)

浅石重美 (大館鹿角) 富岡昭 (大曲仙北)

成田元晴 (鷹巣阿仁) 我妻桂子 (横手)

加賀 繁 (能代山本) 宮原晃 (湯沢雄勝)

鎌田友悦 (秋田 断) 退任された方々

佐藤清一 (秋田) 富岡洋子さん

佐藤操子 (秋田) (秋田。健康上の事情で

佐藤ミツ子 (秋田) 退任します)

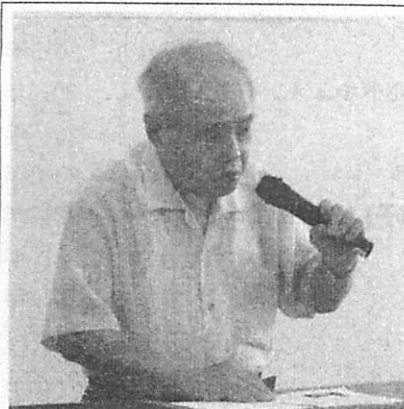
手塚圭子 (秋田) 北村孝治さん

蛭川秀紀 (秋田) (横手。支部事務局長とし

高橋信夫 (本荘由利) て治療に専念します)

佐藤絹子(大曲仙北断)

相川修二 (横手 断)



学習資料 21

DVD「戦争・闘いと抵抗・歴史の真実」等65選

長期無料貸し出しします

気軽にお申し出ください(すでに貸し出し中のものもあります)

★能代山本支部の松山正一さん(写真)が、テレビを録画しDVDにしたとても貴重な資料です。今回、松山さんのご厚意により、長期無料貸し出しします。なお視聴会などを行う際は無料で開催してください。

★申し込みは、支部または県本部へ。

- | | |
|--|-------|
| ①昭和天皇の記者会見「原爆投下はやむを得ないものとおもっております」 | 1975年 |
| ②「長崎・映像の証言～よみがえる115枚のネガ」NHKスペシャル | 1995年 |
| ③ドラマ「憲法はまだか」(脚本・ジェームス三木)NHKスペシャル | 1996年 |
| ④「闇に消えた虐殺～731部隊の真実」(前編)AAB朝日 | 1997年 |
| ⑤「原爆の絵～市民が遺すヒロシマの記録」NHKスペシャル | 2002年 |
| ⑥ドラマ「遥かなる約束～50年の時を越えた運命の愛」BSフジ | 2006年 |
| ⑦「焼け跡から生まれた憲法草案」ETV特集 | 2007年 |
| ⑧「裁かれなかった日本軍の毒ガス戦」ETV特集 | 2007年 |
| ⑨「調査報告 日本軍と阿片～経済から見た日中戦争の闇」NHKスペシャル | 2008年 |
| ⑩ドラマ「あの日、ぼくらの命はトイレトペーパーより軽かった～カウラ捕虜収容所からの脱走」 | 2008年 |
| ⑪ドラマ「なでしこ隊～少女たちだけが見た特攻隊 封印された23日間」AKT秋田 | 2008年 |
| ⑫「戦争は罪悪である～ある仏教者の名誉回復」ETV特集 | 2008年 |
| ⑬乾淑子×沢地久枝「あの戦争から遠く離れて～戦争を『着た』時代」ETV特集 | 2009年 |
| ⑭「埋もれた声～大逆事件から100年」ETV特集 | 2010年 |
| ⑮「戦争とラジオ～放送は国民に何を伝えようとしたか」ETV特集 | 2010年 |
| ⑯「玉砕～隠された真実」NHKスペシャル | 2010年 |
| ⑰「兵士たちの戦争～敵は民の中にありて見えず」NHK | 2010年 |
| ⑱「兵士たちの戦争～占領地の治安戦」NHK | 2010年 |
| ⑲「監視社会への道～愛国者法とアメリカ」NHKBS1 | 2011年 |
| ⑳「日本人の戦争～アジアの民衆に支配された戦争」NHK | 2011年 |
| ㉑「吉田隆子を知っていますか～戦争・音楽・女性」ETV特集 | 2012年 |
| ㉒「従軍作家たちの戦争」NHKスペシャル | 2013年 |
| ㉓「憲法草案秘話～22歳が生んだ男女平等」BS12 | 2013年 |
| ㉔「戦時徴用船～知られざる民間商戦の悲劇」ETV特集 | 2014年 |

②⑤ 「兵士たちの戦争〜ルソン島 悲劇のゲリラ討伐戦」 NHK	2015年
②⑥ 「しゃべってから死ぬ 封印された陣中日記〜南京虐殺」 ABS秋田NNN ドキュメント	2015年
②⑦ 「医師の罪を背負って〜九州帝大生体解剖事件」 ETV特集	2015年
②⑧ 「戦争に動員された人々〜朝鮮・皇民化政策の時代」 NHKスペシャル	2016年
②⑨ 「明日世界が終るとしても〜核なき世界へ 言葉を探す サロー節子」 NHKBDSプレミアム	2017年
③⑩ 「誕生日本国憲法〜三つの分岐点」 NHKアナザーストーリーズ	2017年
③⑪ 「記憶の澱」 ABS秋田NNN ドキュメント	2017年
③⑫ 「戦争の始まり〜重慶爆撃は何を招いたか」 ABS秋田NNN ドキュメント	2017年
③⑬ 「731部隊の真実〜エリート医学者と人体実験」 NHKBS 1 スペシャル	2017年
③⑭ 「スクープドキュメント沖縄と核」 NHKスペシャル	2017年
③⑮ 「ピンの中のお父さん〜被ばく調査の真の狙い」 ABS秋田NNN ドキュメント	2017年
③⑯ 「木魚とライフ〜広がる自衛隊の民間人活用」 AAB朝日テレメンタリー	2018年
③⑰ 「自由はこうして奪われた〜治安維持法 10万人の記録」 ETV特集	2018年
③⑱ 映画「広島」〈出演・月丘夢路、山田五十鈴、加藤嘉子〉 NHKE	2019年
③⑲ 「史実に刻む〜語り継ぐ『戦争と性暴力』」 AAB朝日テレメンタリー	2019年
④⑩ 「消えた村のしんぶん〜滋野村青年団と特高警察」 BS-TBS	2019年
④⑪ 「想国とつづり方から戦争が奪った子供たちの『心』」 ABS秋田	2019年
④⑫ 「かくて“自由”は死せり〜ある新聞と戦争への道」 NHKスペシャル	2019年
④⑬ 「いのちの“優劣” ナチスの科学者」 NHKフランケンシュタインの誘惑	2019年
④⑭ 国際報道「日韓問題解決の糸口は？ドイツの戦後処理との違いを検証する」 BS-TBS	2019年
④⑮ 「その時沖縄は沸騰した〜日米地位協定の波紋」 NHKBSプレミアムアナザーストーリーズ	2020年
④⑯ アニメーション「この世界の片隅で」 NHK	2020年
④⑰ 「義男さんと憲法誕生」 ETV特集	2020年
④⑱ 「笑顔が暴力を生んだ夜 なぜ人々はヒトラーに従った？」 NHKBSプレミアム・ダークサイドミステリー	2021年
④⑲ ドラマ×マンガ「特攻兵の幸福食堂」 NHKBSプレミアム	2021年
⑤⑩ 「原爆初動調査〜隠された真実」 NHKBS 1 スペシャル	2021年
51 「ナチス 人間焼却炉」 NHKBSプレミアムアナザーストーリーズ	2021年
52 ドラマ「しかたなかったと言うてはいかんです」 NHKBSプレミアム	2021年
53 「戦後の女性たち〜戦争にのめり込んだ『普通の人々』」 NHKスペシャル	2022年
54 「“ナガサキ”の痕跡と生きて〜188枚の”令和 原爆の絵”」	2022年
55 「僕たちは戦争を知らない〜1945年を生きた子どもたち」 AAB朝日	2022年
56 「核兵器を拒んだ女たち〜グリーンコモンズの19年」 NHKBS1スペシャル	2022年
57 「世紀の歴史裁判〜事実？ 歴史学者たちの闘い」 NHKBSプレミアム	2022年
58 「密着 自衛隊“ミサイル防衛”のリアル」 NHKBS 1 スペシャル	2023年
59 「満洲帝国 実験国家の夢と幻」 NHK映像の世紀バタフライエフェクト	2023年
60 「市民と核兵器〜ウクライナ 危機の中の対話」 ETV特集	2023年
61 「躍動する若者たち〜“核なき世界”へ」 NHK地域局発	2023年
62 「『はだしのゲン』はなぜ消えた？」 NHKクローズアップ現代	2023年
63 「自衛隊 変貌の先に〜“専守防衛”はいま」 NHKスペシャル	2023年
64 「関東大震災 復興から太平洋戦争への18年」 NHK映像の世紀バタフライエフェクト	2023年
65 「『別班』の真実に迫る、他にも秘密情報組織か、日本の諜報活動の実態」 BS-TBS	2023年

「不屈」再録シリーズ③

県版「不屈」（2003年3月No.142より）

治安維持法弾圧と女性たちの闘い 同盟女性部の意義と役割を考える（2）

※前号からの続き

近江谷昭二郎（故人）

三、同盟運動に於ける女性委員会の意義と役割

《真の女性解放の旗にこそ歴史の光を》

戦前の女性は、男性に比べて社会的にも差別され無権利の状態におかれ、「さらに半封建的な家父長制の圧迫に苦しめられていました。帝国憲法によって女性には参政権はありませんでした。戦争に、息子や夫を送り出すときでも涙を流すことさえ許されませんでした。

この暗黒時代に、一貫して侵略戦争に反対し、婦人参政権の旗も下さず、民主主義と生活擁護を掲げて不屈に闘ったのは、共産党を初めとする治安維持法犠牲者たちでした。この人々の思想と精神は、労働者・農民など勤労人民と女性の解放という人間として最も気高いものでした。文字通りの人民解放の戦士であり、人民の歴史を切り開く先覚者たちでした。

また治安維持法犠牲者たちの指導のもとで労働組合に結

集し、勇気と知恵を発揮した女性たちの闘いも、日本人民の進歩と革新を進めるものでした。彼女たちを含めた人々の闘いなくしては戦後の民主主義も男女平等の基礎もつくりえなかつたものであります。

秋田県には、婦人参政権運動を推進した早川かいさん、和崎ハルさんなどがいました。しかし婦人運動は太平洋戦争の始まる前年に、運動の歴史を閉じて解散してしまいました。従って治安維持法弾圧に抗して不屈に闘った女性たちの歴史は、これらの婦選運動や女性抑圧一般の問題と並列的に扱うことのできないものであります。

私たちは、このことをしっかりと理解しなければなりません。

同盟に女性委員会（又は女性部）を確立することの必要性は、述べてきたように、真に女性解放の旗を下さず不屈

に闘い続けた女性たちの歴史を掘り起こし、それに光をあてて、そこから今日の私たちの闘いに知恵と勇気と力を引き出すことです。

同時に、女性たちの不屈の歴史に息づいている教訓と業績を、ひろく県民女性層のなかに語り広めていくことが重要だからです。この不屈の「歴史を風化させない」という活動は、治安維持法犠牲者の殆どが塩うしているもとで困難をとまいますが、幸い当時の人々が様々な記録や文献を残していますので、掘り起こしの努力をするならば歴史を明らかにすることは十分に可能であります。

女性委員会（又は女性部）を確立することの意義と役割の第一は、この課題にあるのではないかと考えるものであります。

（以下次号に続く）

◆小林エリカ (作家・漫画家)

「戦争は地震や津波と違い人間が起こすもの。日本の過去の行為の責任は、いま日本を生きる『わたしたち』にも重なります」、「仕事場や学校、あるいは台所などあらゆる場所でささやかな抵抗を続けてきた。その女性たちの小さな努力の結果が今日の社会を良くしてきたと思います。声を上げることは決して無力ではありません」

(7・8 「しんぶん赤旗」 — 「学問・文化」より)

◆笹川堯 (自民党の元総務会長・元衆院議員)

「子どもの少ない人は、みんな胸に手を当てる反省してください」、「男がしっかりすれば、必ず女性も子どもをこしらえてくれる」

(7・8 「秋田さきがけ」 — 「囲み記事」より)

◆旭町三区の見返し (土崎港曳山まつり・6・28 「第39回見返しコンクール審査会・最優秀賞」)

「子供減り 増えていくのは 熊と税」

(7・20 婦民新聞) — 「渡部雅子『秋田だより91』」・他より)

今月の注目の言葉



◆安野伊万里 (長崎出身24歳)

「米国の核は安全保障に寄与せず、自国民すら傷つける」

(7・22 「秋田さきがけ」 — 「ルポ『日本の若者 ナバハ族居留地へ』」より)

◆金子昭 (天理大学教授)

「国家が我々国民を監視して意に沿わない個人や団体を弾圧することのないよう、我々国民の側がむしろ、国家のあり方や政府の施政にたえず敏感であることが求められる」

(7・29 「しんぶん赤旗」 — 「朝の風」より)

◆降矢なな (スロバキア在住の絵本作家)

「子どもたちに安心して絵本を楽しむ平和な世界を、私たち大人は諦めてはいけない」

(8・1 「秋田さきがけ」 — 「くらし・支える」より)



俳句

武器持たぬ

大曲仙北支部 今野 量子

年始め中村哲の軌跡かな

真夜中の裸電球多喜二の忌

昭和の日鳴らぬラッパを吹く漢 おとし(「昭和の日」＝昭和天皇の誕生日の4月29日の祝日。昭和天皇が死去した時、それまでの「みどりの日」から「昭和の日」に変えられた)

ふらふらやインチキおじさん退場す

(「ふらふら」＝「ブランコ」のこと。春の季語)

武器持たぬおんなの土偶穀雨か

(「穀雨」＝穀物の成長を促す春の恵の雨)

背後から戦の匂い蔵野行

朝ドラの女はつよし憲法日

鳴りやまぬ防災無線梅雨の空

オッペン^の核の塵かも花の影

よろず屋のラジオのノイズ開戦日

(「オッペン(ハイマー)」＝原爆開発の指導者。「原爆の父」)

★掲句は「俳句人」「しんぶん赤旗」「蠟燭俳句」より。

選句、見出し、配列、()の解説は編集部。ルビは作者

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

第32回 東北ブロック交流集会 in 宮城

と き 2024年10月15日(火)13:00(受付12:00より)～16日(水)12:00

と ころ 秋保温泉「リゾートホテル クレセント」

仙台市太白区秋保町湯元行澤 1-2 TEL 022-397-3111

参加費 1人12,000円(宿泊・食事なしの場合、1人1,000円)

※夕食のみの方はご相談ください

オプションツアーにご参加を！

「仙台北山五山」めぐり

*千栗卓三郎の記念碑⇒資福寺

*高橋とみ子の墓⇒秀林寺

*坂道興の墓⇒日浄寺

要予約

16日(水)12時解散後……

(車で10分)龍風(民商・ラーメン店)

で食事⇒炭釜台・仙台北山五山経由、北山

5山へ(約40分)⇒秀林寺・資福寺・日

浄寺(約1時間)⇒午後3時解散予定

15日(火) 記念講演 (13:30～14:40)

“治安維持法100年と”

山本宣治と東北

えいじま たみお

講師 永島 民雄 さん

治安維持法同盟中央本部事務局長(新)

東京山宣の会会長 歌人

前全国私教連中央執行委員長



ぜひお聴きください

16日(水) 特別報告

(8:35～9:05)

村口 至さん

(坂総合病院 名誉院長)

『平和を求め戦時政策と』

闘った医師人生

～坂道興と坂病院～

新会員紹介

入会を

心から歓迎します

【横手支部】

高橋 祐幸 さん



編集後記

8月になると思い
出されるのは、夏の

高校野球だ。高校時代に野球部に入部し、頑張れば甲子園に出られると本気で考え、ボールが見えなくなるまで練習に励んでいたものだ▼8月7日付「しんぶん赤旗」の「潮流」に甲子園球場建設のきっかけが載っていた。鉄道会社の乗客獲得争いと新聞社の拡張競争だったとは知らなかった。そして

大いに学習しましょう

一冊 500円

治安維持法とは何か

—戦争をする国にしないために—

学習テキスト



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

2024年6月

おくやみ

慎んでご冥福を
お祈りいたします

秋田支部

平野英雄さん

6月25日 死去 85歳

横手支部

浪華節郎さん

8月1日 死去 92歳

名称が「阪神電車甲子園大運動場」ということも▼今思えば、とんでもない到底無理な夢を追いかけて練習に励んでいたものだ。100本ノック(到底無理)を受け、途中で気を失い、バケツに汲んできた水を頭からかけられることもあった。いわゆるスパルタ、根性主義だ。時にはバットで尻を叩かれることも。今では考えられない▼このような練習法はなぜ、いつからなのだ

ろうと考えてみた。ふと戦前、戦中の軍事教育を見聞きすると、ここに源流があったのではないかと。頭は五厘刈り、先輩の言うことは絶対服従。まさに軍隊の教育だ。暴力もあり、けがをしてもどこにも訴えることができなかった。戦争で中断されたり、召集されることなく平和の中で、力いっぱいいたたかってほしと、テレビを見ながら、そんなことが頭をよぎった。(相川)